

## 〇〇年度 活動計算書

平成××年×月×日から平成××年×月×日まで

当該事業年度の自  
至年月日を記載

特定非営利活動法人〇〇〇〇

（単位：円）

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	×××		
賛助会員受取会費	×××		
.....	×××	×××	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	×××		
.....	×××	×××	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	×××		
.....	×××	×××	
4. 事業収益			
〇〇事業収益		×××	
5. その他収益			
受取利息	×××		
雑収益	×××		
.....	×××	×××	
経常収益計			×××
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
退職給付費用	×××		
福利厚生費	×××		
.....	×××		
人件費計	×××		
(2) その他経費			
会議費	×××		
旅費交通費	×××		
減価償却費	×××		
支払利息	×××		
.....	×××		
その他経費計	×××		
事業費計		×××	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	×××		
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
退職給付費用	×××		
福利厚生費	×××		
人件費計	×××		
(2) その他経費			
会議費	×××		
旅費交通費	×××		
減価償却費	×××		
支払利息	×××		
租税公課（固定資産税、自動車税）			

会費の性格  
に応じて分  
けて記載

人件費とその他  
経費に分けた上  
で、支出の形態  
別に内訳を記載

人件費とその他  
経費に分け  
た上で、支出  
の形態別に内  
訳を記載

.....		×××		
その他経費計		×××		
管理費計			×××	
経常費用計				×××
当期経常増減額				×××
III 経常外収益				
1. 固定資産売却益			×××	
.....			×××	
経常外収益計				×××
IV 経常外費用				
1. 過年度損益修正損			×××	
.....			×××	
経常外費用計				×××
税引前当期正味財産増減額				×××
法人税、住民税及び事業税				×××
当期正味財産増減額				×××
前期繰越正味財産額				×××
次期繰越正味財産額				×××

前事業年度活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認する。

貸借対照表の「正味財産合計」と金額が一致することを確認する。

(備考)

定款上、その他の事業を行うことを定めているが、当該年度にその他の事業を行う予定が無い場合、「※今年度はその他の事業を実施していません。」と活動計算書の脚注に記載する。

なお、その他の事業を行う場合は、「前事業年度の活動計算書（その他事業付き）」の様式例・記載例を参照すること。

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)		用途等の制約が解除されたことによる指定正味財産から一般正味財産への振替額
I 経常収益		
1. 受取寄附金		
受取寄附金振替額	×××	
.....		
II 経常費用		
2. 事業費		
援助用消耗品費	×××	
.....		
(指定正味財産増減の部)		
受取寄附金	〇〇〇	
.....		
一般正味財産への振替額	×××	「受取寄附金振替額」と同額をマイナス計上

○ 留意事項

この様式は、以下の場合に使用します。

- ① 定款上、特定非営利活動のみ行うことを定めている場合
- ② 定款上、その他の事業を行うことを定めているが、当該年度はその他の事業を行っていない場合

※②の場合、活動計算書の脚注に「※今年度はその他の事業を実施していません。」と明記すること。なお、②の場合、「前事業年度の活動計算書（その他事業付き）」の様式例を使用することも可能です。

## 〇〇年度 活動計算書

当該事業年度の自至  
年月日を記載

平成××年×月×日から平成××年×月×日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇

(単位：円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	×××		×××
賛助会員受取会費	×××		×××
.....	×××		×××
2. 受取寄附金			
受取寄附金	×××		×××
.....	×××		×××
.....	×××		×××
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	×××		×××
.....	×××		×××
4. 事業収益			
〇〇事業収益	×××		×××
△△事業収益		×××	×××
5. その他収益			
受取利息	×××		×××
雑収益	×××		×××
.....	×××		×××
経常収益計	×××	×××	×××
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	×××	×××	×××
法定福利費	×××	×××	×××
退職給付費用	×××		×××
福利厚生費	×××	×××	×××
.....	×××		×××
人件費計	×××	×××	×××
(2) その他経費			
会議費	×××		×××
旅費交通費	×××	×××	×××
.....	×××		×××
減価償却費	×××		×××
支払利息	×××		×××
.....	×××	×××	×××
その他経費計	×××	×××	×××
事業費計	×××	×××	×××
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	×××		×××
給料手当	×××		×××
法定福利費	×××		×××
退職給付費用	×××		×××
福利厚生費	×××		×××
.....	×××		×××
人件費計	×××		×××
(2) その他経費			
会議費	×××		×××
旅費交通費	×××		×××

会費の性格  
に応じて分  
けて記載

人件費とその他  
経費に分けた上  
で、支出の形態  
別に内訳を記載

人件費とその他  
経費に分けた上  
で、支出の形態  
別に内訳を記載

減価償却費	×××		×××
支払利息	×××		×××
租税公課（固定資産税、自動車税）			
.....	×××		×××
その他経費計	×××		×××
管理費計	×××		×××
経常費用計	×××	×××	×××
当期経常増減額	×××	×××	×××
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	×××		×××
.....	×××		×××
経常外収益計	×××		×××
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	×××		×××
.....	×××		×××
経常外費用計	×××		×××
経理区分振替額	×××	△×××	0
税引前当期正味財産増減額			×××
法人税、住民税及び事業税			×××
当期正味財産増減額	×××	×××	×××
前期繰越正味財産額			×××
次期繰越正味財産額			×××

その他の事業で得た利益の振替額

貸借対照表の「正味財産合計」と金額が一致することを確認する。

前事業年度活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認する。

貸借対照表を別業表示しないこととする場合には、正味財産額の内訳は表示されない。

当該年度にその他の事業を実施していない場合は、「その他の事業」欄の数字をすべてゼロとする、あるいは「前事業年度の活動計算書（その他事業なし）」の様式例を使い、脚注に「※今年度はその他の事業を実施していません。」と明記する。

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)			
I 経常収益			
1. 受取寄附金			
受取寄附金振替額	×××		
.....			
II 経常費用			
2. 事業費			
援助用消耗品費	×××		
.....			
(指定正味財産増減の部)			
受取寄附金	〇〇〇		
.....			
一般正味財産への振替額	×××		

用途等の制約が解除されたことによる指定正味財産から一般正味財産への振替額

「受取寄附金振替額」と同額をマイナス計上

- 留意事項  
 この様式は、以下の場合に使用します。  
 ①定款上、その他の事業を行うことを定めている場合  
 ※定款上、特定非営利活動のみ行うことと定めている場合については、「前事業年度の活動計算書（その他事業なし）」の様式例を使用すること。  
 ②定款上、その他の事業を行うことを定めているが、当該年度はその他の事業を行っていない場合  
 ※②の場合、活動計算書の「その他の事業」の欄の数字をすべてゼロとすること。  
 なお、②の場合、「前事業年度の活動計算書（その他事業なし）」の様式例を使用することも可能です。